学校番号	301

令和５年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	世界史Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史」（山川出版）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社）、新世界史要点ノート標準編（世界史Ｂ対応）、新世界史研究ノート標準編（世界史Ｂ対応）（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この世界史B (3単位)では原始・古代から現代に至るまで、「西洋史」を中心に学習します。1年次の世界史Aより深い内容です。時代、地域、国名、人物名など覚えるべき事項はたいへん多いですが、むやみに暗記するのではなく、背景をとらえながら多角的に時代を把握するように心がけてください。

２　学習の到達目標

①世界の歴史への興味・関心を高め，主体的に探究していく態度を身につける。
②世界の歴史の大きな枠組みと流れを，地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解する。
③文化の多様性と現代世界の特質を多角的かつ広い視野から考察し，歴史的思考力を培う。
④世界史についての資料を適切に選択し，資料に基づいて考察した結果を適切に表現する力を身につける。
⑤現代社会が直面する諸課題について，歴史的観点から考察し，主体的な追究を通して認識を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる態度を形成する。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし，我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活･文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	振り返り レポート 行動の観察	発表 行動の観察	教科書の活用 資料集の活用	定期テスト 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(中間テストまで)	オリエントとヨーロッパ	・文明社会への道すじ ・西アジアと地中海世界 ・近代以前のアフリカ・アメリカ・オセアニア ・ヨーロッパ世界の形成と展開	○ ○	 ○	○ ○	 ○	a：・オリエント文明の展開とペルシア人の活動を中心とした西アジア世界の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：・アメリカ大陸で独自に発達した都市文明や国家について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：ヨーロッパ世界の展開過程について様々な資料を収集し、歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：地中海周辺の都市文明を統合したローマ帝国，西アジア世界について理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 小テスト 発表
前期(期末テストまで)	ヨーロッパ世界の形成と発展	・近代ヨーロッパの形成 ・大西洋革命の展開 ・産業革命	○	 ○ ○	 ○ ○	○	a：18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパとアメリカの諸革命について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：『アメリカ独立宣言』『フランス人権宣言』の比較により多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：ヨーロッパの社会や文化の特質について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取る。 d：16 世紀から 18 世紀までのヨーロッパ世界の動向について理解し，その知識を身に付けている	定期考査 小テスト 発表

後期（学年末まで）	近代ヨーロッパ世界の形成	・19 世紀のヨーロッパ・アメリカ世界 ・帝国主義の時代 ・第一次世界大戦と世界の変動 ・ファシズムと第二次世界大戦	○ ○ ○	○	○	○ ○	a： 帝国主義時代の世界の動向と社会の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b： 20 世紀前半の世界の動向と社会の特質について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c： 一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる世界戦争の時代の国際社会の変遷について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取る。 d：19 世紀後半から 20 世紀初めまでの欧米諸国の工業化についての知識を身に付けている。	定期考査 小テスト 発表
後期（学年末以降）	戦後世界の形成とその展開	・冷戦の時代 ・冷戦の終結 ・現代の課題	○	○ ○	○ ○	○ ○	a： 第二次世界大戦終結後の冷戦体制の始まりについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b： 地球世界に関する適切な課題について歴史的観点にもとづいて多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c： ヨーロッパの経済成長による世界の多極化を経て 1970 年代にいたるまでの世界の動向について様々な資料を活用する。 d： 第二次世界大戦後，米ソ両国が対立し、冷戦状態になっていく過程を理解する。	定期考査 小テスト 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。